

インドにきれいな水を。 浄水器と水ポンプを届けよう！

私たちが大切に考える4つの分野 ▶ 〈日本と世界を結ぶ〉 〈安全・安心〉 〈次世代育成〉 〈環境〉

子どもたちの笑顔のために
きれいな水を

JALとコペルニク（Kopernik）は、人と人を繋ぎ、日本と世界を結んで、途上国に必要なテクノロジーなどを届けることで、環境や社会課題の解決に貢献しています。コペルニクは、2010年2月に設立された米国NPO法人で、途上国の社会課題と、世界中の国から集められた技術をインターネット上でマッチングさせ、広く寄付を募集。現地での適正な価格で技術などを届けることにより、途上国の生活の質の向上と貧困削減などの課題解決を図る団体です。日本では2014年より、一般社団法人コペルニク・ジャパンとして活動しています。「国と国をつなぎ」「環境保全」「安全・安心（衛生状況の改善）」「次世代育成（生活改善・学習機会の拡大）」などを目指しているコペルニクの活動が、JALグループのCSR活動の方針と親和性が高いことから、協業により活動の効果を高めるべく、「人をつなぐ、世界を結ぶ。プロジェクト」を進めています。あわせて

今回、その浄水器と水ポンプをお届けしたのは、インドの首都・ニューデリーより飛行機と車で約7時間の所にあるブルパニという町から、30分ほど移動した、共同の井戸を使って生活している村々。子どもたちが安心して暮らせるよう、水環境を改善するために向かいました。

農家の水やり効率化に 水ポンプを寄贈

まずは幼稚園や小学校へ。これまでも、子どもたちは井戸の水をペットボトルに入れて持参していましたが、浄水器の設置によって「幼稚園や学校で安全できれいな水をたくさん飲むようになった」と先生が嬉しそ

その後は農家に水ポンプをお届けしました。これまで農作物への水やりは、大きな井戸からバケツで水をくんだり、手でポンプを回してくみ

JALは、航空券の提供などを通じて、コペルニクの活動を支援しています。2016年10月までJALマイレージバンクで受け付けました「インドにきれいな水を。浄水器と水ポンプを届けよう！チャリティ・マイル」では、皆さまから浄水器と水ポンプ約220個分の支援に相当する、228万3000マイルのお申し込みをいただきました。

上げるという方法でした。それでは一回にくみ上げられる量は小さなバケツ1杯分なので、一日に何回も行わなければなりません。体力があるので男性が中心に行っていましたが、人手が足りていませんでした。しかし、寄贈したポンプは足で簡単に踏み込むとくみ上げられるもの。農作物の水やりもとても効率よく、誰でも楽にできるようになった、と農家の方が話してくれました。



今回浄水器と水ポンプを学校や役所、農家にお届けし、皆さんにとっても喜んでいただけことが何より嬉しいですね。生活に欠かせない水の環境がまず改善されることで、子どもたちがより安心して、いつまでも笑顔で暮らしてほしいと思っています。また水ポンプの導入により、開発途上地域の農業が少しでも改善され、この活動をきっかけに便利なテクノロジーが広まることを願っています。皆さまからいただいた多くのチャリティ・マイルにより、たくさんの子どもたちに安心・安全な水をお届けできました。これからも「日本と世界を結ぶ」ことで人々、経済、文化の交流を促進し、経済の発展や平和に貢献できるよう、このような活動に取り組んでまいります。



浄水器を寄贈した学校の皆さんに、日本語の挨拶や飛行機のお話を。目を輝かせて集まってくれました。

■私たちが取り組むCSR活動に関する詳細は、こちらでもご覧いただけます。

www.jal.com/ja/csr/

■「人をつなぐ、世界を結ぶ。プロジェクト」については、下記ウェブサイトをご覧ください。

www.jal.com/ja/csr/bridge/kopernik/

01. 浄水器の水を美味しく飲む子どもたち。02. 浄水器の取り付けに皆、興味津々。03. 水ポンプを使うことで、女性でも農作物への水やりが楽になった。

今回のテーマに当てはまる目標



2015年9月、全国連加盟国（193カ国）により「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）」が採択されました。2030年までに、貧困や気候変動、平和的な社会などの17の目標を達成すべく、JALグループも社会課題の解決に取り組んでいきます。

